

緑化だより

No.151 令和元年7月号



ネムノキ

- 季節の花(あじさい)
- 昆虫の話(森の名わき役・コクワガタ)
- 小さな世界こけ(身近なコケ(6))
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

7、8月は月曜日休園。月曜日が祝日の場合、翌日休園。
土、日、祝日は17時まで開園



ryokka 緑化センターの本

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811

FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>

E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

アジサイ

「あぢさゐの 八重咲く如く 弥(や)つ代にを、いませわが背子、見つつ偲(しの)はぬ」
橋 諸兄(たちばな もろえ) 万葉集 巻 20:4448

これを訳しますと

(あぢさゐの花が八重に咲くように、いついつまでもご健勝で栄えてください、そして花を眺めては貴方を思い出し、お慕いいたします。)

この歌は奈良時代の天平勝宝7年(西暦755年)、丹比国人(たじひのくにひと)の屋敷で国人の長寿のお祝いの宴で、庭に咲いていた八重咲のあじさいを歌ったものです。

平安時代に「紫陽花」という字があてられ、中国では花の色が変わる様子から「八仙花」、日本では「七変化」と呼ばれました。

奈良時代に植栽されていたのはヤマアジサイで、アジサイ科アジサイ属の落葉低木です。関東以西～九州の山地の湿った谷沿いに自生しています。

現在、広く栽培されているアジサイの原種はガクアジサイと呼ばれ、関東地方の海岸に自生しています。

江戸時代末期の文政6年(1823)、長崎県出島にあるオランダ商館に、ドイツ人のシーボルトが医師として来日しました。日本人に医学を教える傍ら、日本の動植物も研究しました。彼の日本人妻は滝といいましたが、「お滝さん」と呼ばれるのを、日本語がわからないシーボルトは「Otakusa」と聞き間違えました。シーボルトが帰国後に「日本植物誌」を刊行した中に、14種のアジサイ属が記載されており、その中の一つに、「ヒドランゲア・オタクサ」があります。空色のアジサイの花に、愛した人「お滝さん(オタクサ)」を花の学名にしました。長崎では「おたくさ」と言われるお菓子も売られています。

シーボルトなどによりアジサイがヨーロッパに渡り、様々な品種改良がおこなわれました。セイヨウアジサイは日本に逆輸入され日本に広まりました。その花々が「手まり咲き」アジサイです。アジサイは、じめじめした梅雨空にとっても美しく清涼感があり、日本の風景に似合う花です。(上村)



ガクアジサイ



アジサイ
シーボルト「日本植物図譜」
講談社刊より

昆虫の話

森の名わき役・コクワガタ

夏、昆虫採集に行くと、樹液の出ている木では必ずと言ってよいほど、コクワガタを見つけることができます。

コクワガタは細身で黒く、直線的な顎が特徴の小さなクワガタムシです。広島では最もありふれたクワガタムシで、山奥から都市部の公園まで、様々な環境で見られます。また活動する期間も長く、春から秋まで樹液に集まり、冬には朽木の隙間等で越冬する成虫を採

集できます。さらに個体数が非常に多いこともあり、子供たちの遊び相手となる一方、他のクワガタムシと比較して低い扱いを受けがちです。

コクワガタが普通にみられる理由に、彼らの適応力の高さが挙げられます。

ミヤマクワガタが住めないほど暑い環境でも、ヒラタクワガタが好まない涼しい環境でも、コクワガタは平気です。また、幼虫の生活できる環境の幅が広いのも強みの一つで、広葉樹の朽木はもちろん針葉樹の朽木からも見付き、場所も立ち枯れから倒木、地中の木にいたるまで、実に多様です。さらに、コクワガタは寿命が長いことも特徴の一つで、成虫になってから3~4年は生きるため、数回にわたって繁殖することができます。そして最大の強みは、何といたっても体が小さいことです。その小さな体で他のクワガタムシやカブトムシの目をかいくぐり、ちゃっかり樹液にありつくことができます。

近年は環境の変化により、多くのクワガタムシは見かける機会が減ってしまいました。一方、コクワガタは特に影響を受けていないようで、今でもいたるところでその姿を見ることができます。もし山で出会ったら、ぜひ観察してみてください。(市森林公園こんちゅう館 逸見)



コクワガタ

小さな世界 こけ

身近なコケ(6)

コケに関心がなくても苔玉が好きという人は多いようです。色々な植物を土団子に包み、表面をコケでカバーした苔玉は、狭いスペースで鉢植えとは違った風情を楽しむことができるからでしょうか。しかし、苔玉に使用されるコケは何でも良いわけではないようです。作業がしやすい。乾燥や日当りにも耐え、枯れにくい。生長が早い等の性質をもったハイゴケがよく使われます。

ハイゴケは日当りの良いやや乾燥気味の草地や岩の上など幅広い環境でマットを作ります。茎は這い、そこから羽状に横枝を伸ばします。卵型の葉先はフックのように曲がります。

仲間のオオベニハイゴケは山地の湿り気のあるところで見られます。ハイゴケに比べるとやや大きく、羽状に伸びた横枝はやや粗く、赤銅色をしています。他にも仲間には、小ぶりで締まった感じのマットをつくり、葉先が著しく曲がるヒメハイゴケや、樹幹に着生し、葉先の曲がりもゆるいコハイゴケなどがあります。(山根)



ハイゴケ



ハイゴケの葉先

を伸



研修会のご案内

オオベニハイゴケ

- 7月 3日(水) 『7月の自然探勝』
園内を歩きながら夏の植物を観察しよう
※ 自由参加, 無料
10:00~12:00 学習展示館前 集合
講師: 緑花文化士
横山 直江
- 7月 7日(日) 『夏のきのご教室』
梅雨にもたくさんのきのこが・・・
※ 自由参加、無料、採集用カゴ持参
10:00~14:00 第3駐車場 集合
講師: きのこアドバイザー
川上 嘉章
- 7月 15日(月・祝) 『藍のトントン染め』
藍の生葉をトントンたいてハンカチを染めよう
※ 要予約(先着20名)残りわずか、材料費500円
10:00~12:00 学習室 集合
講師: サイエンスインストラクター
山縣 圭子
- 7月 21日(日) 『夏休み昆虫教室』
園内の昆虫を採集しよう
※ 要予約(先着40名)残りわずか、無料、採集道具持参
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 技術士(環境部門)
亀山 剛
- 7月 21日(日) 『夏休み自由工作塾』
木の実や木の枝で自由に工作
※ 自由参加、材料費100円
10:00~15:00 レストハウス裏庭
講師: 緑化センターボランティア
ふれあい湧
- 7月 27日(土) 『昆虫標本作り入門』
昆虫の標本作りを学びましょう
※ 要予約(先着20名)残りわずか、材料費1,000円
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 技術士(森林部門)
相良 伊知郎
- 7月 28日(日) 『夏休み自由工作塾』
木の実や木の枝で自由に工作
※ 自由参加、材料費100円
10:00~12:00 レストハウス裏庭
講師: 緑化センターボランティア
ふれあい湧

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会

場所: 学習展示館

・緑化センター 季節の花写真展 ~ 7月31日(水)

場所: レストハウス

(ボード展示)

・第5回 ひろしま遊学の森
こども写生大会作品展 ~ 7月7日(日)

・愛鳥週間原画コンクール 入賞作品展
7月9日(火) ~ 8月7日(水)

(ガラスケース展示)

・トール&デコラティブペインティング
「メリー・ルーの仲間たち」展
6月1日(土) ~ 7月14日(日)



愛鳥週間原画コンクール
入賞作品展より



「メリー・ルーの仲間たち」展より